

団体名

桃山学区防災ミーティング

団体概要

名古屋市緑区の桃山学区で、学区・町内会・関係団体と共に助け合いによる防災活動の取り組みをしている集まりで、今年で3年目を迎えています。

大地震等による災害の時、備えが十分でなかったり、高齢化等により防災活動が十分にできない心配があるので、私達は地域をつなぐミーティング（話し合い）の輪を作り、地域の協力による防災態勢づくり、全町内会の防災力の強化、助け合いの仕組みづくりに取り組んでいます。

活動名：地域の連携協力による防災力強化と助け合いの環境づくり

1

活動内容と実施結果

活動目的	活動内容	得られた成果
地域防災力の強化	全体ミーティングを1回実施 (3回計画を修正)	全体ミーティングの一回開催により休止状態は回避したが、個別の打ち合わせが全く出来ず、組織内の意思疎通が十分でないまま年度末を迎えた ミーティングの大切さを再認識した
	個別ミーティングは全く出来ず (手紙と電話打合せに変更)	
助け合いの仕組みづくり	情報伝達訓練を実施 (総合防災訓練を分割して実施)	コロナ禍でも可能な訓練を実施、限定的な内容であったが、「工夫」「気づき」等もあって情報伝達の意義を考える場となった
	学区本部、避難所の運営に参加 (活動範囲を拡大)	地域防災計画の基点となる学区本部について考える機会が来た
地域の安全度向上	地域防災計画、防災マニュアルづくりは低迷 (世話人会議での打ち合せ迄)	防災計画の案及び防災調査の考え方を整理したが、進展は図れず
	防災責任者の複数人化に対応 (引継ファイル、ビブス等の追加配付)	複数体制に着手、用品を確保することが出来たが成果は次年度以降

2

全体ミーティングの様子（コロナウイルスの感染対策実施中）

カリキュラム

目的	進め方
1 顔を合わせて皆を知り合う	全員自己紹介と身近な活動紹介
2 活動を理解してもらう	引継ファイルを使った説明
3 話し合いの雰囲気づくり	小グループによる話し合いで環境を整える
4 今後の活動への展開	当面の課題を設け個別ミーティングに繋げる

自己紹介、活動紹介



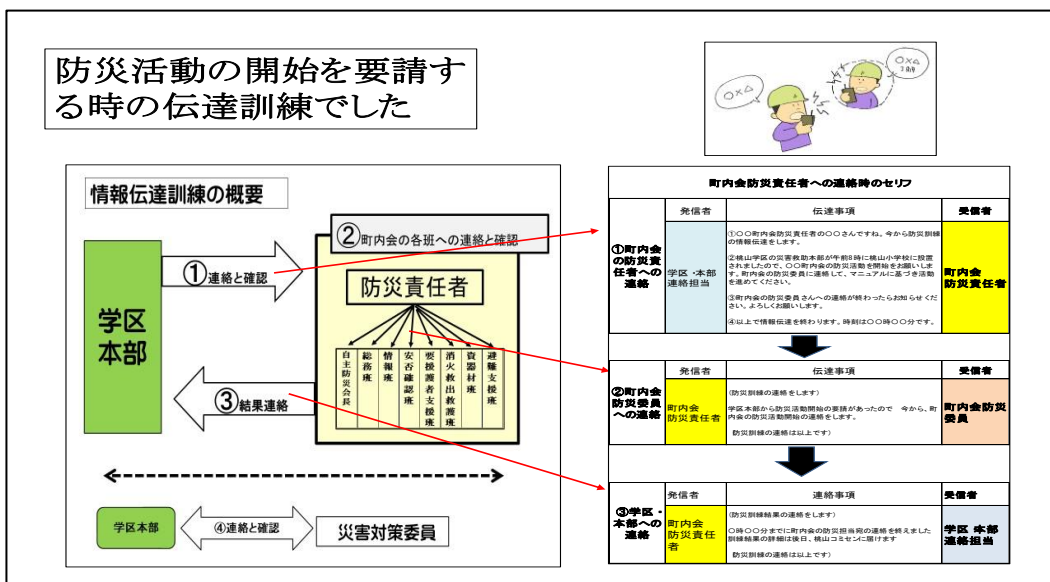
話し合い内容の紹介



3

情報伝達訓練についていただいた意見等（全体ミーティング）

訓練内容	必要なことだが事前の学習が無いとうまく出来ない	課題	日常のコミュニケーションが大切
	実践的な訓練はやっておくべき		高齢者には別の連絡手段が必要
伝達手段	電話+LINE、メールの併用が効果的		町内会未加入者の扱いが曖昧
	接続不良、電話に出ないお宅の対応が必要		



4

「防災調査」について出された意見等（全体ミーティング）

実施可否	「調査」がうまくいくか不安がある
	町内で助け合いをするための資料になるので良い
	試行的にやってみて実際に運用できるかどうか確かめたい
情報管理	町内会におけるDATAの管理、運用方法を考える必要がある
	個人情報を含むDATAの管理ができるかどうか心配
調査方法	従来の世帯数調査に付加又は連結する方法が好ましい

防災調査とは

災害の時、町内会の防災活動で安否確認や要援護者支援等を確実に行うために確認資料を事前に整備する必要があります

資料作りのために世帯数や居住者数、要援護者数などを把握する調査するものです

桃山学区・防災調査シート（案）

所属する町内会名	町内会の組名
*世帯を代表する人の名前（カタカナで記載）	
*住居表示（町名、番地、戸番など）	
①安否確認の対象となる家族の人数をお尋ねします	
②災害のとき避難等に支援が必要かどうかお尋ねします	
③防災活動支援者になっていただけるかどうかお尋ねします	
④災害への備えについてお尋ねします（該当するところ〇を付けてください）	

桃山学区

防災NEWS

2021.1月発行
VOL.5

今年も
よろしく
お願いします

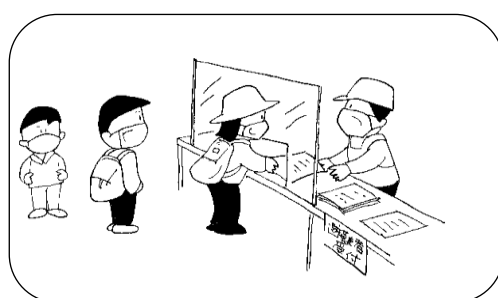


コロナ禍の防災活動

コロナウイルス感染症との戦いが続く中で、もし災害が起きたとしたら、自分自身は素より地域の防災活動ではどうすればいいのか？
防災活動の中で感染のリスクが大きいのは、多数の人が集まる避難所生活の中といわれています。避難所でのコロナ対策は名古屋市が感染対策を含む運用マニュアルの作成など支援してくれているので、これを基に取り組むことになります。町内会の防災活動で安否確認や救出救護をするときにもウイルス感染のリスクがあるので必要な感染対策をして活動することになっています。

桃山学区防災本部（避難所開設訓練11/8）

避難所の立ち上げ訓練が桃山小学校で行われました。今回は、町内会の活動を支える学区本部の動き方の説明も加わり、学区本部の活動全体を知ることが出来ました。実際の災害では今回の説明のようにはできないかもしれませんが、一つ一つの動き方を確認するとともに学区全体で取り組む総合防災訓練の積み重ねにより態勢づくりを進めていきます。



「地域防災計画」づくり

防災計画は、災害時に桃山学区の中で「何を、どのように進めるのか」といった災害時の具体的な行動や手順を示すものです。いつ来るか分からない災害に備えるには計画づくりを急ぐ必要があるのですが、実効性のある内容にするために各町内会の意見を聞くための話し合いを続けて来ました。

昨年は、コロナ禍の中で十分な話し合いが出来ず、半ば動きが止まった状況でしたが、年末に「地域防災計画の概要（案）」「防災調査（案）」を各町内の防災責任者にお届けするところまで来ました。今後、町内会の皆さんと更に話し合いを重ねて令和3年度中の取りまとめを目指しています。

LINEで情報伝達 （8月の情報伝達訓練）

情報伝達訓練もコロナウイルス感染を防ぐために、電話連絡を中心に行いました。

大規模地震により災害が起きたときを想定して、桃山学区の本部から災害対策委員や町内会の防災責任者に「防災活動の開始」を連絡し、防災責任者は町内の防災担当者に「拠点づくり」を連絡するという内容でした。

午前中の2時間程の訓練に約170名が参加して行いました。伝達方法は電話の他にメールやLINEグループを使った方法も行われて確実性が高まりました。令和3年度も情報伝達の訓練を行い、マニュアルとして整備して行きます。

防災調査とは

災害の時、町内会の防災活動で安否確認や要援護者の支援をするための資料を整備するために、事前に、世帯数や住民数、要援護者などを把握する調査です

○災害のとき 自分自身を守るための 備えを怠りません（自助）
○災害のとき 最も頼りになる（近所との繋がり）を大切にします（共助）
○災害のとき みんなで助け合う町内の防災活動に協力します（町内会）
○災害に備え 助け合いの環境づくりを応援します（助け合い）

桃山防災宣言

桃山学区
防災ミーティング

地域防災計画・災害時の活動イメージ

